

KURASHIKI CENTRAL HOSPITAL



NEWS
NO.19
2012.11

この冊子は、倉敷中央病院をご理解いただくとともに、皆さま方とのコミュニケーションをはかるためのものです。皆さまと当院を結ぶかけはしとなるように、「Kニュース」と名付けました。

倉敷中央病院 ■患者本位の医療・全人医療・高度先進医療■

C O N T E N T S

- 院内散歩
フラワーガーデン 3
- インタビュー
救急医療センター
センター主任部長 福岡 敏雄 4
それぞれの患者さんに必要な
医療をよりの確に、スムーズに
- トピックス
「患者さんの権利」と
「患者さんへのお願い」 6
- ヘルシーリビング
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 8
アレルギー性鼻炎
- QQ車 11
モザイクのご案内
-図書室と患者さんが快適に過ごせるお手伝いの場所
- 提案箱から 12
診断書を家族が受け取る際、
委任状なしでも受け取れるように
システムの不具合で受付方法が変更になっ
た場合でも、待っている順番に受付を
抗がん剤の点滴の準備に
時間がかかるのはなぜ？

院内散歩



● フラワーガーデン ●

1923年の創立の頃から、当院には入院・外来患者さん用に二つの温室がありました。大原孫三郎の構想で、児島虎次郎がデザインしたものです。現在の外来温室の噴水の水槽は、旧入院温室にあったものと同じ形にし、大きさを1.5倍にしました。

3階吹き抜けの広々とした空間に光が溢れるフラワーガーデンは、中央に、旧外来温室にあった長方形の植え込みを池に改めて造りました。池の縁石は白石島（笠岡市）産、噴水は宮城県角田市から掘出した玄武岩で、自然石をわずかに加工して、静かに表面を流れる水と、割れ目に迸る水しぶきの音を目で感じることでできるもので、イサム・ノグチのパートナー 和泉正敏氏独特の石彫りです。

池には旧外来温室にあった睡蓮・河骨（こうほね：浅い池や沼などに生える多年生の水草。夏に黄色い花が咲く）を配し、モネの庭（フランス・ジヴェルニー）の睡蓮もあります。

頭上のフラワーポットに植えたアイビーゼラニウムやストレプトカーパスが、たっぷりとした緑の葉の間に、赤や薄紫の花を楽しませてくれます。

それぞれの患者さんに必要な 医療をよりの確に、スムーズに

救急医療センター

センター主任部長 福岡 敏雄

**救急医療センターの場所が変わり、
広くなったと聞きました**

福岡 今までは病院の敷地の北の西

側にありましたが、全く逆の南の東側に移り、広さも一・五倍に広がりました。

旧救急医療センターは一九七五年に開設され、これまでも徐々に拡張してきましたが、患者さんが増えて手狭

になったため、さらなる拡充が必要になりました。

昨今進められている、地域の医療機関が連携して患者さんの治療にあたる地域完結型医療の中で、当院は、重症の患者さんの治療や、専門的な検査・治療、手術など、いわゆる急性期の医療を行うことを役割と考えています。この役割を果たし、患者さんに安心して医療を受けていただける病院づくりをしています。

二〇一〇年に急性期医療の中核となる手術センター、集中治療室と病棟からなる第3棟を新築し、引き続き、その南側に手術室の増室と、救急医療センターの移転・拡充を行ったわけです。

当院は年間に救急患者さんを67000人、救急車を8000台と、全国的にみても非常に多く受け

入れています。それに見合うスペースになったと思います。

**新しい救急医療センターは
どのような特長がありますか**

福岡 増築・改築を繰り返すなかで、以前の救急医療センターは、歩いて来られる患者さんと救急車で運ばれる患者さんを診療するスペースが少し混じり合うようなこともありました。新救急は、そのスペースがしっかり分かれたので、それぞれの患者さんに集中して治療ができるようになりました。

歩いて来られた患者さんには、緊急度の高い患者さんを早く診るようになるため、担当の看護師がお話を聞くトリアージを行います。救急車の患者さんを診療するスペースも、比較的軽い患者さんを診るオープン



の七ベッドと、重症の患者さんを診る手術室並みの設備を持った二つの個室になりました。それぞれの患者さんに必要な医療を、よりの確に、スムーズに行えるようになったことが大きな特長です。

また、広くなった分、より多くの患者さんを受け入れできるようにもなりました。救急専用のCTや放射線一般撮影装置など設備も充実しました。

それに加えて、救急患者さんの入院病棟を作ったことが、これまでと大きく違うところです。

救急患者さんの入院病棟ですか？

福岡 四階に、10床の救急病棟を作りました。これまでは、内科以外の救急の患者さんはそれぞれの診療科の病棟に入院していました。今後

は救急に近い場所で、救急の患者さんに慣れたスタッフが対応します。入院しやすくなり、安心して入院していただけると思います。

来年の四月には救急の集中治療室も稼働できる予定ですので、より重症の患者さんも入院できるようになります。

救急を受診される方に アドバイスをお願いします

福岡 救急にあわてて来るということは、患者さんには大変負担になります。お近くにかかりつけ医、何でも気軽に相談のできる医師を作っていたら、普段はそこで診ていただく。当院にかかられている患者さんも、急に調子が悪くなつて救急に来られることもあるでしょうが、外来でちよつと早めに相談すること

が大事に至らないことに繋がります。その点が一番大切だと思います。

最終的に、本当にお困りのときに頼りにしてもらえ救急でありたいので、その時は遠慮なく申し出てください。

次代を担う若い人を育てる場

福岡 実は、当院の救急にはもう一つ大切な役割があります。若い人を育てる教育の場なのです。学んでいるのは当院の若手医師・スタッフだけではなくありません。岡山大学の医学生や、救急救命士の勉強をしている学生さん、また、現役の救急救命士の方も研修に來られます。救急に來られた患者さんから、多くのことを学ばせていただいています。

「患者さんの権利」と「患者さんへのお願い」

私たち倉敷中央病院職員は、創立者 大原孫三郎のためには、患者のみなさまの基本的な権利を明確にす
 当院としてふさわしいと考える「患者さんの権利」と
 全職員が日々努力し、到達すべき実施目標として、

精神をより生かし、高め、患者本位の医療を実践する
 ことが重要であるとの認識の基に、現代において、
 「患者さんへのお願い」を定めました。
 「患者さんの権利」を守ってまいります。

「患者さんの権利」

1. 個人の尊厳

ひとりの人間として、その人格、価値観などを尊重
 されます。

2. 平等で最良の医療を受ける権利

当院で達成可能な最良の医療を誰もが平等に受ける
 権利があります。

3. インフォームド・コンセントと自己決定権

医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の
 治療法などについて、わかりやすい言葉や方法で説明を
 受け、医療の内容を十分理解し、同意した上で、適切
 な医療を選択し、受ける権利があります。同意できない
 場合は、医療を受けることを拒否することもできます。

医療行為の選択にあたっては、当院の治療方針につ
 いて、他の医療機関の意見（セカンドオピニオン）を

聞くことができます。

研究途上にある試験的治療を勧められる場合には、
 治療の内容、予想される危険性、従来の治療方法との
 違いなどについて、十分な説明を受け、ご自身で決定
 することができます。

4. 診療情報の提供を受ける権利

当院で行われたご自身の診療に関する情報の開示を
 求める権利があります。

5. プライバシーの保護と秘密保持の権利

病院内での自分のプライバシーを守る権利があります。
 また、医療の過程で得られた個人情報、個人の秘
 密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない
 権利があります。

「患者さんへのお願い」

私たちが、良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践
 するために、次のことをお願いいたします。

1. ご自身の健康に関する正しい情報の提供

2. ご自身の医療への積極的な参加

3. ご自身の治療に必要な診療上のルールの遵守

4. 他の患者さんの診療に支障をきたさないため のご協力

5. 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・ 見学へのご理解とご協力

財団法人 倉敷中央病院
 院長 小笠原 敬三

平成14年6月2日制定
 平成19年8月1日改定
 平成24年9月10日改訂

アレルギー性鼻炎

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

アレルギー性鼻炎とは

アレルギー性鼻炎では、鼻粘膜に抗原（花粉やハウスダストなどのアレルギーの原因となる物質）が曝露されることでくしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状が出現します。ハウスダストやダニに代表される一年中飛散しているものが原因となる通年性のもと、スギやヒノキなどの一年のうちで一時的に飛散しているものが原因となる季節性ものがあります。現在、日本では約4割の人が通年性または季節性アレルギー性鼻炎を持っていて、国民病と言えます。



診断

アレルギー性鼻炎の診断は、鼻の中の状態を観察することから始まります。アレルギー性鼻炎の疑いがあれば、アレルギーの原因物質を探る検査（抗原検査）として血液検査（特異的IgE抗体検査）を

行います。この検査結果と診察所見を総合して、アレルギー性鼻炎の診断をします。

治療

アレルギー性鼻炎は根本的には体質に関わっていることから、「治る」ということは極めて難しいです。このため症状が出ないようにすることが最も重要で、治療の第一は抗原の除去と回避です。

例えば花粉症の方は春に外出する時はマスクをして、家に帰ってきた時は中に入る前に衣類を叩くなどして、家の中に花粉を入れないようにします。布団も外に干した時は、花粉をしっかりと落とすようにします。眼の痒みも出る方は、眼鏡をすることも有効です。次に飲み薬（抗ヒスタミン薬な

ど)や点鼻薬を症状や程度に合わせて使用していきます。鼻汁やくしゃみに良く効く薬や、鼻づまりに良く効く薬などがありますので、例年どの症状でお困りか思い出すようにしてください。症状にあわせて、複数の飲み薬を服用していただくこともあります。ステロイド点鼻薬を使用することもありますが、この場合は、毎日定期的に使用することで効果が出てきます。薬での治療があまり効かない場合や症状の軽減を目指す場合には、鼻の粘膜をレーザーで焼いたり、切除します。

アレルギー性鼻炎の薬は眠気の少ないものが増えています

アレルギー性鼻炎の治療薬で最も使用されているのが抗ヒスタミ

ン薬です。「抗ヒスタミン薬は眠たくなる」と一般的に考えられています。最近では眠気の少ない「第2世代」と呼ばれるものが良く使われています。「眠気が強いほど効果も強い」ということはありませんが、抗ヒスタミン薬で眠気が誘発される可能性がありますので、車の運転をされる方は担当医と良く相談して処方してもらいましょう。

レーザー治療

レーザー治療は、鼻の中で最大のアレルギー反応の場である下鼻甲介をレーザーで焼くことで、鼻のアレルギーを起こす場を減らし、鼻の粘膜のアレルギー反応を鈍くします。粘膜を収縮させることで主に鼻づまりの改善を目指し、効

果は1〜3年程度持続します。治療後に効果がなくなってきたと感じたら、再度レーザー治療を行います。花粉症の場合には、花粉症のシーズン前に治療を終了しておくことが理想的です。

レーザー治療は外来通院で行います。鼻の中に麻酔液を浸したガーゼを入れて麻酔し、必要があればさらに局所麻酔を注射してから焼灼するため、痛みはあまりありません。手術は片側5〜10分程度で終了します。術後にヒリヒリするような痛みを一時的に感じる方もいますが、痛み止めが必要な方がほとんどです。

鼻の粘膜を焼灼すると、反応性に粘り気のある鼻水が数日間出て、鼻の粘膜が腫れるため、1週間〜2週間は鼻がつまります。鼻がつ

まることで一時的に臭いが分かりにくくなりますが、徐々に元の状態に戻ります。

術後は週に1回程度通院して、鼻の中をきれいにします。

レーザー治療は8歳ぐらいからできます

処置中にじっとしていることができれば、何歳からでもレーザー治療は可能ですが、一般的には8歳ぐらいが目安となります。

レーザー治療は妊娠中の方にはお勧めしません

妊娠中でもレーザー治療を行うことは可能ですが、術後の痛み止めや抗生剤などの飲み薬が使用できないため、できるだけ妊娠前に

治療を行うことをお勧めします。その他、ペースメーカーを使用している方も、当院で使用しているレーザー治療は受けられません。

その他の手術療法

鼻の真ん中が曲がっている方（鼻中隔彎曲症）や鼻の粘膜が強く腫れている方（肥厚性鼻炎）は、レーザー治療以外の手術（鼻中隔矯正術と下甲介粘膜下骨切除術）の適応となります。また、鼻水やくしゃみの症状が強い方には、これらの症状に関係している神経（後鼻神経）の切断術をお勧めします。これらの手術は1週間程度入院して行います。

アレルギー性鼻炎は慢性副鼻腔炎の原因になることがあります

高度のアレルギー反応によって副鼻腔の換気が不良となったり、アレルギーの炎症が副鼻腔へ波及することなどが、慢性副鼻腔炎の誘因となることがあります。アレルギー性鼻炎と自己判断していても、非常に強い鼻づまりや臭いが分らない、眼や頬などが重たいような感覚がある方は副鼻腔炎の恐れがありますので、一度耳鼻科で相談しましょう。

おわりに

アレルギー性鼻炎で悩まれている方はまず外来を受診して、治療法を担当医と良く相談しましょう。



QQ車



QQ車は、皆さまに倉敷中央病院のできごとを運ぶ(お伝えする)コーナーです。

モザイクのご案内

—図書室と患者さんが快適に過ごせるお手伝いの場所として

9月18日、放射線科受付南のアーチの廊下に沿って、患者さん用の図書室と、患者さんに院内で快適に過ごしていただくお手伝いをする空間「モザイク」が誕生しました。名前はアーチの廊下の両端にあるモザイクタイルに因んで付けました。



外来棟にある「医療情報の庭」は、皆さんに病気や健康について学んでいただくための図書室ですが、モザイクの図書室は絵本、写真集、詩歌集、随筆などの一般書を置いています。図書の貸し出しは入院患者さんが対象ですが、室内での閲覧はどなたでも可能です。

因みに10月までの貸し出しベスト6は

置かれた場所で咲きなさい	渡辺和子
ねこ(写真集)	岩合光昭
94歳。寄りかからず。前向きにおおらかに	吉沢久子
いのちのことは心の道しるべ137言	佐藤初女
采配	落合博満
旅に出たくなる地図 日本	帝国書院編集部

でした。

また、その他のサービスとして

- ・宿泊先案内
- ・インターネットの利用
- ・ファックス送信(有料)
- ・コピー(有料)

などを行っています。こちらのサービスはどなたでも利用可能です。その他、何かお困りのことがありましたら、ご相談ください。

利用可能時間

平日/9:00-17:30 土曜日/9:00-16:30
日曜・祝日はお休みです

この病院のココが好き。ココが嫌い。

提案箱



診察後、抗がん剤の点滴の準備ができるまで1時間以上かかる。どうしてこんなに時間がかかるのか？

診察終了から点滴開始までの流れをご説明しますと、まず診察後、医師が電子カルテへ入力を行い、治療指示書に治療指示を記入します。次に事務の手に治療指示書が運ばれて、薬剤部に治療指示書が届きます。薬剤部で治療指示書に基づいてお薬を調合して通院治療室に搬送し、通院治療室でカルテの内容を確認して搬送されてきたお薬を点滴できるように準備します。

薬剤部には各診療科から治療指示書が届きますが、特に10時以降は集中して届きます。指示内容に関して正確を期すために、医師への確認等で調剤に取り掛かるまでに時間を要することがあります。また治療指示によっては、お薬を溶解することやお薬を点滴容器に充填することに時間を要することがあります。そうした条件が重なると、お薬の調剤全体が遅れ、短時間で調剤できる患者さんもお待たせしてしまうことがあります。

対策として普段から長時間お待たせすることのないように配慮して、一人当たり15~20分程度で調剤を完了できるように努力しています。またインフューザーポンプという特殊な点滴容器にお薬を充填する治療指示では、調剤に時間を要するため、先に投与する薬剤から調剤して2回に分けて搬送することで、患者さんが少しでも早く点滴を開始できるように工夫しています。

今回いただきましたご意見につきましては、関係スタッフに伝え、体制を工夫することで待ち時間の更なる短縮を図りたいと考えています。

「Kニュース」は、皆さまと当院のコミュニケーションの場です。お気軽にご意見をお寄せいただいて、皆さまとともによりよい病院にしていきたいと願っています。

診断書を家族が受け取る際、病状によっては患者本人に知られたくないので、委任状なしでも受け取れるようにしてほしい。

当院では文書をお渡しする際、ご本人に渡す場合は「身分証明書」、ご本人以外の方に渡す場合は「委任状と身分証明書」を確認させていただいています。これは大事な文書を患者さんに確実にお渡しするためです。患者さん一人ひとりに事情があるかと思いますが、それぞれ異なった対応をしますと、窓口は混雑・混乱してしまいます。

もし、規定以外の方法で受取を希望される場合は、診察のときに直接医師に相談するか、文書窓口で相談していただきたいと思います。窓口での混乱を防ぐためにも、皆さんには同じ対応をさせていただいておりますので、ご理解とご協力のほどよろしく願います。

再来受付機システム不具合のため、受付を窓口受付に切替えることとなったが、再来受付機で待っている順番での誘導はなく、反対側の窓口で受付が始まった。朝早くから並んで待っていた患者の気持ちを考えて誘導移動させてほしかった。

このたびは大変不愉快な思いをおかけしましたこととお詫びいたします。突然のシステムダウンで再来受付機から窓口受付へ切替えを行うのに時間がかかり、大勢の患者さんをお待たせしたため、お待ちの方に誘導できませんでした。

今後はこのようなシステムトラブルが起こらないのが一番大切なことですが、もし起きたときは、お待たせしている患者さんに番号札を配るなどして、お待ちになっている順に患者さんを窓口へ誘導できるようスタッフと検討を行っています。スタッフへは、患者さんの気持ちを配慮し、十分な心配りができるよう指導を行っていきたく考えています。



財団法人

倉敷中央病院

〒710-8602 岡山県倉敷市美和1丁目1番1号
TEL.(086)422-0210代 FAX.(086)421-3424
<http://www.kchnet.or.jp>